

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表 こども発達支援センター め示き園(保育所等訪問)				
		公表日 令和7年2月28日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など		
業務改善	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		○	記録写真用のカメラを撮るとよりいいと感じる。		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	利用希望者が増えてきており、円滑に平等に支援していくことを考えると、実施できる職員を増やした方がいいと感じる。		
	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	現在は一人の職員しか配置されておらず、一緒に振り返る人が不在のため実施できていない。		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○			
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	報告書を共有してもらう事で、その機会を得ていると考える。		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後は実施したいと考えている。		
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。		○	外部機関の実施する研修だけでなく、法人内研修、自事業所内の職員間研修など、状況に合わせて実施しております。		
	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。		○			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではなく、こどもの支援に関する職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。		○	モニタリング会議などで集団の中での様子を伝え、共通理解できるように努めている		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	情報交換をする時間を設けさせていただいている		
適切な支援の提供	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	R7年度からは、新版K式発達検査やVineland-IIを取り入れていく予定です。		
	13 保育所等訪問支援計画には、「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援が設定されているか。		○	定期的にガイドラインを見直すように努めている		
	14 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その後行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	今後、改善していくように共有を意識していく必要がある。		
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。		○			
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。		○			
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	児童発達支援管理責任者へ引き継ぎ参加してもらう事が多いため、状況によっては代役を担ったり同席する事もある。		
関係機関や保護者との連携	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○			
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学校部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○			
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○			
	24 (自立支援)協議会こども会議や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	地域自立支援協議会があまり活発ではなく、案内がない。		
	25 白旗から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を図っているか。		○			
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。		○			
	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○			
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。		○	特に小学校には丁寧に説明を行うようにし、市町村が異なる場合についても保育所等訪問について説明するようになっている		
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を確認する機会を行っているか。		○			
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。		○			
保護者等への説明等	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。		○			
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい会で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	行事や学習会、保護者主催の茶話会などの交流の機会を設けております。しかし、ニーズに合わせて適切に対応している。		
	33 こどもや保護者からの相談（申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか）。		○			
	34 定期的に信頼等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	月報や法人HPにより発信しております。		
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○			
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	個室でのアセスメントや面談を行なうようにしている		
	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。		○			
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		○	訪問先スタッフとのカンファレンスの中で気づきや情報共有が必須であると考えている		
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。		○	速やかにではないが、面談の中で支援計画の見直しも行っている。		
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○			
非常時等の対応	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。		○			
	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○			
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○			
	44 ピヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○			
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○			
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なつて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	身体拘束を行なったケースはありません。		